

特定非営利活動法人

# 建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

## 第22期通常総会資料

### 【1】法人の概要

### 【2】議事資料

第1号議案「第22期事業報告及び収支決算に関する事項」

第2号議案「第23期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第3号議案「役員改選に関する事項」

### 【3】報告事項

日 時: 2026年5月13日(水)14:00～

場 所: TKP 新橋カンファレンスセンター ホール 15B

(同時 Web 配信)



特定非営利活動法人  
建築設備コミッショニング協会

## 【1】法人の概要

名称: 特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会  
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日  
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日  
法人登記完了 : 2004年8月25日  
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日  
事務所登記変更  
従たる事務所設置  
東京 : 2007年6月26日  
京都 : 2007年6月26日  
主たる事務所移転 : 2007年6月28日  
従たる事務所移転  
兵庫 : 2010年5月19日  
主たる事務所移転 : 2013年5月15日  
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日  
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

### 役員

理事長 奥宮正哉  
副理事長 赤司泰義、山羽基  
理事 浅利直記、大石晶彦、上谷勝洋、澤地孝男、田上賢一、近本智行、馳平心、松下直幹、丸山直子  
監事 高瀬知章、高橋直樹

### 会員数(2026年3月31日現在)

個人正会員 237名  
賛助会員 45団体(内 大学6校)、特別会員5名

### 委員会組織

- ・企画・運営委員会: 協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会: 認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、資格認定、資格登録
- ・事業委員会: 研究調査、先導的Cx事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会: 技術支援、Cxプロセス・ツール研究

## 賛助会員一覧（2026年3月31日現在）

### 財団法人

ヒートポンプ・蓄熱センター

### 企業

梓設計、アズビル、安藤・間、エネゲート、大阪ガス、大林組、関西電力、関電エネルギーソリューション、QW エナジーソリューションズ、木村工機、きんでん、きんでんスピネット、クラブティア、佐藤総合計画、三機工業、三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、SIMLAB Solutions、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電力、東京ガス、東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、東洋熱工業、日建設計総合研究所、日本設計、日本ファシリティ・ソリューション、Meinhardt Japan、三菱重工サーマルシステムズ、三菱電機、森村設計  
(五十音順)

### 大学

京都大学、神戸大学、中部大学、東京大学 GX 戦略推進センター、名古屋大学、立命館大学 (五十音順)

### 官公庁

神奈川県立近代美術館

## 【2】議事資料

### 第1号議案「第22期事業報告及び収支決算に関する事項」

2025年度事業報告(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

#### 1. 事業の成果

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会を東京で開催し、5名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。現在(2026年3月末)、CxPE登録者の総計は113人である。CxTE(性能検証専門技術者)講習会はオンライン開催にて行い、47名が受講した。全員が全ての講義を受講してCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録は現在82名である。また、第2回CxTE実務講習会を実施し、3名が受講した。なお、Cxを業務として実施する組織(CxF: Commissioning Firm)の登録は、現在7社である。

事例シンポジウムを東京、中部で開催した。東京では2025年11月13日にBSCAシンポジウム in 東京「コミッショニングの推進を目指して」と題して、発注者や施工者といった立場からCxに携わった方々を講師に迎えて、「コミッショニング事例」について講演を行い、85名(内WEB43名)の参加があった。中部では2026年1月30日にシンポジウム in 中部「コミッショニング・プロセスとそれに必要な文書管理の事例」と題して、基調講演、Cx事例講演の後にパネルディスカッションを行い、コミッショニング技術者(CA)と関係者が対話を重ねる体制の重要性を確認した。会場参加とWEB併用のオンライン開催として88名(内WEB41名)の参加があった。

総会は、2025年5月28日に実会合・オンライン併用のハイブリッド形式で行った。付帯行事の講演会では、再エネ熱利用促進協議会 笹田 政克氏および元岐阜大学教授 N 研究所 蛭川 忠三氏を招き講演していただいた。総会後の技術交流会も開催し、会員間の交流を深める場となった。

性能検証普及事業については、当協会 Web ページ掲載内容の拡充(「建物所有者のみなさま」コンテンツの追加)および賛助会員の増加にともなう更新作業を行った。また、コミッショニングレターの発刊など、例年通りの広報活動も実施した。

調査研究及び技術支援事業については、IBECs「住宅・非住宅建築物の省エネルギー・脱炭素・室内環境のための技術体系に関する研究 — 実証データに基づく技術開発プロジェクト(自立循環プロジェクトフェーズ 8) — 未評価技術の省エネルギー設計・調整・試験方法に関する検討委員会」に参画し、Cx 手法を適用した未評価技術に対する省エネルギー評価手法の検討を行った。その検討の一環として、本委員会の前身である初期調整委員会で取りまとめた「VWV システムの技術解説書」に基づく任意評定が2025年度より開始された。

また、国際交流では、ASHRAE 東アジア地区(Region XIII)において、既存建物のコミッショニングタスクフォース(Retro-Commissioning/Retrofitting Task Force)が新設され、ASHRAE 日本支部からの依頼のもと、「建築設備コミッショニングマニュアル」の利用と物件情報提供などの協力をした。

基準の制定及び検証事業については、2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」について、改訂第5版の発刊を行った。また、本年度受託の国土交通省 環境・ストック活用推進事業における成果を周知するためシンポジウム「コミッショニングで実現する既存ビルの省エネ診断ツールから日米の最新事例まで」を2026年3月4日に開催(187名参加)し、関連資料は当協会ホームページにて公開し、Cxプロセスを既存建物へ活用する有用性を発信した。

共催・協賛事業については、地中熱利用促進協会主催の地中熱利用促進協会 シンポジウム等の後援をしCxの発展に寄与した。

事務局 WG では、引き続き事務局体制の整備を行った。

## 2. 事業実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業(非営利活動)

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2025/12/19 ~ 2025/12/20	東洋熱工業会議室	7名	5名
	b)	CxTE 講習	2025/7/18	オンライン開催	5名	47名
		CxTE 実務講習	2025/8/26	JR 東日本ビルテック株式会社 研修センター (FMTEC)	5名	3名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2025/4 ~2026/3	BSCA 事務所他	2名	—
	d)	事例シンポジウム	2025/11/13	東京 浜松町グランデ 7 階 703 号室+WEB	10名	85名
			2026/1/30	中部 ウィンクあいち 11 階 1107 会議室 +WEB	10名	88名
	e)	ACSES/Cx パーソナルトレーニング	—	開催見送り	0名	0名
	f)	Cx マニュアル(CD)の頒布	2025/4 ~2026/3	BSCA 事務所	3名	30名
	g)	総会付帯講演会	2025/5/28	TKP 新橋カンファレンスセンター ホール 15B+WEB	10名	35名
h)	技術交流会	2025/5/28	同上	10名	31名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2025/9/4	高松市内	1名	36名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2025/4 ~2026/3	事務局	4名	約 100名
	b)	ホームページの整備充実	2025/4 ~2026/3	事務局	4名	約 1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2025/4 ~2026/3	事務局	7名	約 200名
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2025/9/3 ~2025/9/5	香川大学 幸町キャンパス	3名	約 100名
	e)	企画・運営委員会活動	2025/4 ~2026/3	BSCA 事務所他	31名	—

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2025/4 ～2026/3	BSCA 事務所他	1 名	同上
	b)	技術委員会活動	2025/4 ～2026/3	東京	5 名	建築関係者
	c)	他団体との協働活動参画	2025/4 ～2026/3	東京	4 名	建築関係者
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2025/4 ～2026/3	Web 会議他	22 名	
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング(施工フェーズ)	2022/7 ～2027/3	東京・Web 会議他	6 名	
	c)	R7 年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業	2025/4 ～2026/3	東京・Web 会議他	22 名	
d)	事業委員会活動	2025/4 ～2026/3	BSCA 事務所他	12 名		
(5) 共催・協賛事業					会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。	2025/4 ～2026/3					

### 3. 事業の概要

#### (1) 人材育成事業

##### a) CxPE(性能検証技術者)資格研修会

CxPE 資格研修会を 2025 年 12 月 19 日～20 日に東京にて開催した。5 名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。合格者 5 名のうち 4 名から登録申請があり、CxPE 登録者は総計 117 名となる見込みとなった。

##### b) CxTE(性能検証専門技術者)講習、実務講習

2025 年 7 月 18 日に、第 14 回目となる CxTE 講習会をオンラインで開催した。講習会には 47 名の受講者(CxTE-A のみ 2 名)が参加し、全員に CxTE 講習の修了証を授与した。2025 年度に新たに CxTE 登録した会員は 12 名であり、累計で 82 名となった。

また、第 2 回 CxTE 実務講習会を 2025 年 8 月 26 日に JR 東日本ビルテック(株)の研修施設 FMTEC にて実施し、3 名が受講した。

##### c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

###### 1) 認証検討委員会

第 14 回目となる CxTE(性能検証専門技術者)講習会を 7 月 18 日にオンラインで開催して、受講者 47 名が全ての講義を受講して、受講者全員に修了証を発行した。

###### 2) 資格判定委員会

CxPE 資格研修会で使用する試験問題を決定し、資料の作成を行った。研修会終了後は、CxPE 資格研修小委員会を開催し、採点を行った。CxPE については、2026 年 3 月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2025 年度の CxPE の合否判定を行った。

##### d) Cx 事例シンポジウム

東京では 2025 年 11 月 13 日に、「2025 年度 BSCA シンポジウム in 東京ーコミショニングの推進を目指してー」と題したシンポジウムを開催した。公共交通の運用改善をテーマとした日建設計総合研究所 今枝氏による基調講演が行われ、その後、熊本の急性期病院、品川区の自治体施設、ASHRAE Technology Award 受賞建物となった東京都内の事務所ビルと多様な建物用途について Cx 事例紹介を行った。ハイブリッド方式にて開催し、85 名(内 WEB 43 名)の参加があった。

中部では 2026 年 1 月 30 日に、「2025 年度 BSCA シンポジウム in 中部ーコミショニング・プロセスとそれに必要な文書管理の事例ー」と題したシンポジウムを開催した。オーナー、地方自治体、設計者、施工者、メンテナンス会社、地元企業など、Cx プロセスに関わる様々なステークホルダーに対し、立命館大学 近本智行教授による基調講演があり、後半は、大規模改修の Cx 事例と発注者の視点から見る Cx の文書管理についての 2 講演が行われ、パネルディスカッションではコミショニング技術者(CA)と関係者が対話を重ねる体制の重要性を確認した。88 名(内 WEB 41 名)の参加があった。

**e) ACSES/Cx パーソナルトレーニング**

Cx に活用するという視点で開発されたシミュレーションツール ACSES/Cx (Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning) に関するパーソナルトレーニング講習を実施する予定であったが、次年度に先送りすることになった。

**f) Cx マニュアル(CD)の頒布**

2025 年 4 月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第 5 版の販売を継続した。2026 年 3 月にて販売数は個人会員版が 14、法人販売版(賛助会員、一般販売)が 18 となった。

**g) 総会付帯行事としての講演会**

2025 年 5 月 28 日の総会後に、オンライン併用のハイブリッド形式で講演会を開催した。

再エネ熱利用促進協議会 笹田政克氏「再生可能エネルギー熱利用の現状と将来に向けて」、元岐阜大学教授 N 研究所 蛭川忠三氏「リアルタイム電力料金制へ適応するビルマルチ空調設備の AI 制御」の 2 題の講演を行った。

**h) 技術交流会**

2025 年 5 月 28 日の総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した。来賓の方々からの挨拶の他、2025 年度の新 CxPE の代表者から抱負表明等も行われ、終始和やかに会員間で情報交流や交歓が図られた。

**i) Cx に関心を持つ者の集い**

2025 年 9 月に「コミッショニングに関心を持つ者の集い」が、空気調和衛生工学会大会(高松)2 日目に開催された。参加者は大学関係者 6 名、大学生 2 名、行政関係者 3 名、民間企業関係者 25 名の合計 36 名での開催となった。

## (2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

### a) CxPE のフォーラム活動

CxPEとしての活動の活性化を図ることを目的とした座談会を計画したが、他の協会活動との日程調整が困難であったため、開催を見送った。

### b) ホームページの整備充実

ホームページの更新を7月と11月に行った。具体的な更新内容は、理事長交代による挨拶文等の変更、賛助会員数増加による賛助会員リスト及び賛助会員企業ロゴの追加、Cx マニュアル改定に伴う販売ページの更新である。

### c) コミッショニングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターの月 1 回発行を継続した。

### d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会が9月に香川大学で開催され、技術展示会場にブースを出展して広報活動を行った。昨年同様に、従来のパネル展示に加えて、モニターによるデジタル展示を行った。

### e) 企画・運営委員会活動

委員会を年 5 回開催し、下記活動の実施内容について審議・実施を行った。

#### 1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供(Cx 文書事例、Cx ツールなど)を検討した。

#### 2) CxTE 及び CxF の登録の促進

CxTE 講習会を例年通り開催して、登録者の促進を図った。また、Cx 事例シンポジウム等において、CxF 登録制度を紹介し、賛助会員の増加に努めた。

#### 3) 各種団体への Cx の普及活動

国土交通省の支援・協力のもと、建物所有者に Cx の有用性を理解していただき、Cx プロセスを既存建物に活用していただくことを目的として 2025 年 3 月に作成した「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン」及びパンフレットを活用して全国でセミナーを開催するとともに、ホームページに掲載した。

### (3) 調査研究・技術支援事業

#### a) 海外調査・国際交流

ASHRAE 東アジア地区 (Region XIII )において、既存建物のコミッショニングタスクフォース (Retro-Commissioning/Retrofitting Task Force) が新設され、ASHRAE 日本支部として参加することになった。その日本支部会員である山羽副理事長から依頼を受け、「建築設備コミッショニングマニュアル」の利用と物件情報提供などを含む協力をするようになった。その一環でタスクフォース各国への RCx 状況の調査について回答した。

#### b) 技術委員会

省庁、自治体、関係業界団体等の各所に、Cx とは何か、カーボンニュートラルに向けての Cx の必要性は何か、などを説明し、理解を深めていただくために、ホームページやシンポジウム等で「Cx 事例の紹介」を展開した。

#### c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所(建研)および一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター (IBECs) が企画・運営する「住宅・非住宅建築物の省エネルギー・脱炭素・室内環境のための技術体系に関する研究 — 実証データに基づく技術開発プロジェクト(自立循環プロジェクト フェーズ 8) — 未評価技術の省エネルギー設計・調整・試験方法に関する検討委員会」に、前年度から継続して、当協会から吉田名誉理事長が委員長として参画するとともに、柳原前理事長、赤司副理事長、松下理事、および BSCA 会員の山田博氏、吉原毅氏の 5 名が委員として参加し、Cx 手法を適用した未評価技術に対する省エネルギー評価手法の検討を行った。

その検討の一環として、本委員会の前身である初期調整委員会で取りまとめた「VWV システムの技術解説書」に基づく任意評定が 2025 年度より開始された。また、本技術解説書に基づく JIS 規格の原案作成にも参画した。さらに、前年度に初版として取りまとめた変風量空調システム (VAV システム) の技術解説書の改訂を行うとともに、IBECs と連携し、その内容を解説するシンポジウムを開催した。加えて、VWV・VAV システムに続く未評価技術である CO<sub>2</sub>濃度制御について、技術解説書の作成に向けた各種検討を進めた。

これらの活動を通じて、未評価技術に対する Cx 手法を用いた省エネルギー評価および設計・調整手法の体系化に寄与した。

#### (4) 基準制定・検証事業

##### a) 建築設備コミショニングマニュアル改訂委員会

2016 年度に発行した「建築設備コミショニングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cx の普及に向けてプロセスを整理し、より適切な解説にすべき」などの意見について編集した改訂第 5 版を発刊した。また、実際のコミショニングで作成された各種文書を抽出し、マニュアルの文書事例として編纂して、当協会のホームページで公開する予定である。

##### b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミショニング(施工フェーズ)

- ・ 委託機関: 東急電鉄(株)
- ・ 事業実施: 2022 年 7 月～2026 年 3 月
- ・ 担当者: 吉田治典(CA)、木虎久隆(幹事)、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の試運転調整の確認、機能性能試験、適正化を実施した。初年度は 58%の省エネルギーであったが、2 年目は適正化され 72%の省エネルギーが確認された。

##### c) R7年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業(調査、普及・広報に関する事業)

- ・ 委託機関: 国土交通省
- ・ 事業実施: 2025 年 4 月～2026 年 3 月
- ・ 担当者: 奥宮 正哉、赤司 泰義、山羽 基、木虎 久隆、近本 智行、澤地 孝男、上谷 勝洋、田上 賢一、馳平 心、松下 直幹、浅利 直記、高草 智、久保井 大輔、湯澤 秀樹、山口 弘雅、天野 雄一朗、岡 敦郎、田中 英紀、西山 満、竹部 友久、辻 裕伸、李 小平(当協会の会員のみ掲載)

本事業は、住宅・建築物に係る先導的な技術の普及啓発に関する調査、普及の推進を目的とする補助事業であり、BSCA は、建物所有者に対する Cx プロセスの有用性の周知、Cx プロセスを実施する際のハードルの緩和策の検討および Cx 事業者の拡充などの実施体制の強化に関する事業を提案し、採択された。令和 6 年度に作成した「建物所有者向けの建築設備コミショニングガイドライン」を全国の建物所有者に対して周知する広報活動および建物所有者向けホームページの開設、中小規模事例の収集、建物所有者が作成する文書類のテンプレート作成、Cx 導入に向けた建物状況把握ツールの開発、米国における Cx 実態調査、資格取得者が Cx 事業者としてビジネスができる仕組みの検討、CxPE への研修方法の検討などを実施した。更に、その成果を周知するためシンポジウムを 2026 年 3 月 4 日に開催(187 名参加)し、関連資料は当協会ホームページにて公開した。これらにより、建物所有者の Cx の有効性の理解を深めることで、既存建物における Cx の普及に貢献した。

##### d) 事業委員会

当協会に寄せられる Cx プロジェクトの相談対応方法について議論を行った。また、紹介可能な CxF を増やすための登録要件の見直しの検討議論を行った。

## (5) 共催・協賛事業

### a) 共催、協賛

- ・協賛事業: 空気調和・衛生工学会 コミッショニング委員会  
「コミッショニングの普及拡大を目指して」 2025年6月20日
- ・協賛事業: 東京都環境局  
「省エネ・再エネ推進セミナー(オンライン形式)」 2026年3月11日

### b) 後援

- ・後援事業: 一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター  
「VAV空調システムのFPT法による技術解説シンポジウム」 2025年10月9日
- ・後援事業: 日本建築学会主催第21回 建築設備シンポジウム  
「環境建築とDecarbonization」 2025年10月31日
- ・後援事業: 特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会主催  
「第5回 全国地中熱フォーラム -猛暑時代の地中熱空調-」 2026年1月28~30日

## (6) 理事会

理事会を6回開催し、総会付議事項、理事長互選、会員増強策等について審議し、方針を決定した。

#### 4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

##### 2025年度正味財産増減計算書

建築設備コミッションング協会

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科目	2025年度予算執行	2025年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>I 経常収益</b>				
1 受取会費				
入会金収入	95,000	100,000	-5,000	
正会員受取会費	2,360,000	2,300,000	60,000	
賛助会員受取会費	6,800,000	6,000,000	800,000	
計	9,255,000	8,400,000	855,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	550,000	840,000	-290,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	510,000	325,000	185,000	
CxTE研修会(実務)	300,000	700,000	-400,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	0	700,000	-700,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	625,455	600,000	25,455	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	527,000	400,000	127,000	
ACCESS/Cxワークショップ	0	240,000	-240,000	
マニュアルの頒布	850,420	200,000	650,420	
技術交流会	273,000	150,000	123,000	
Cx 集い	193,000	135,000	58,000	
小計	3,828,875	4,290,000	-461,125	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	0	0	
小計	0	0	0	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	6,600,000	6,600,000	0	
既存建物省エネルギー省Co2	19,994,958	20,000,000	-5,042	
小計	26,594,958	26,600,000	-5,042	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	30,423,833	30,890,000	-466,167	
5 その他収益				
受取利息	55,402	10,000	45,402	
雑収益	0	0	0	
計	55,402	10,000	45,402	
<b>経常収益計</b>	<b>39,734,235</b>	<b>39,300,000</b>	<b>434,235</b>	

科目	2025年度予算執行	2025年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1 事業費</b>				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	347,482	1,160,000	-812,518	
CxPE座談会	0	216,000	-216,000	
CxTE研修会(東京ZOOM)	121,535	115,000	6,535	
CxTE研修会(実務)	236,516	505,000	-268,484	
Cx事例シンポジウム(関西)	0	520,000	-520,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	339,233	300,000	39,233	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	1,980	3,000	-1,020	
Cx事例シンポジウム(中部)	283,022	400,000	-116,978	
ACSES/Cx公開ワークショップ	0	225,000	-225,000	
マニュアルの頒布	234,970	100,000	134,970	
総会付帯講演会	90,330	90,000	330	
技術交流会	534,157	230,000	304,157	
Cx 集い	218,165	135,000	83,165	
資格判定委員会	147,930	180,000	-32,070	
計	2,555,320	4,179,000	-1,623,680	
2. 普及事業				
ホームページ	464,665	520,000	-55,335	
コミッションングレターの発行	90,495	100,000	-9,505	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	118,300	100,000	18,300	
CxF登録制度小委員会	0	50,000	-50,000	
企画・運営委員会及び広報担当	50,000	200,000	-150,000	
計	723,460	970,000	-246,540	
3. 研究・支援事業				
海外調査	0	200,000	-200,000	
技術委員会	0	100,000	-100,000	
計	0	300,000	-300,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	7,419,799	10,200,000	-2,780,201	
既存建物省エネルギー省Co2	19,994,958	20,000,000	-5,042	
事業委員会	30,100	100,000	-69,900	
マニュアル校正	2,495	350,000	-347,505	
計	27,447,352	30,650,000	-3,202,648	
5. その他				
計	0	0	0	
<b>事業費計</b>	<b>30,726,132</b>	<b>36,099,000</b>	<b>-5,372,868</b>	

科目	2025年度予算執行	2025年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>2 管理費</b>				
旅費交通費	294,748	280,000	14,748	
通信運搬費	1,266,752	900,000	366,752	
消耗品費	96,325	100,000	-3,675	
什器備品	0	100,000	-100,000	
会議費	265,964	300,000	-34,036	
印刷製本費	10,730	100,000	-89,270	
租税公課	177,752	600,000	-422,248	
支払手数料	79,255	60,000	19,255	
雑給	0	0	0	
諸会費	46,375	100,000	-53,625	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	424,600	420,000	4,600	
事務外注費	4,466,000	4,600,000	-134,000	
事務管理費	200,000	250,000	-50,000	
雑費	38,500	0	38,500	CPD審査手数料
減価償却費	0	0	0	
<b>管理費計</b>	<b>7,769,601</b>	<b>8,212,600</b>	<b>-442,999</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>38,495,733</b>	<b>44,311,600</b>	<b>-5,815,867</b>	
<b>I, II 当期経常増減額</b>	<b>1,238,502</b>	<b>-5,011,600</b>	<b>6,250,102</b>	
<b>III 経常外収益</b>				
1 固定資産売却益	0	0	0	
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 経常外費用</b>				
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>III, IV 当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
税引前当期正味財産増減額	1,238,502	-5,011,600		
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000		
当期正味財産増減額	1,168,502	-5,081,600		
前期繰越正味財産額	53,000,734	53,138,932		
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>54,169,236</b>	<b>48,057,332</b>		

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

2025年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2026年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額			備考
<b>I 資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
現金及び預金	34,176,142			
棚卸資産	0			
貯蔵品	0			
前払費用	14,036			
未収入金	19,994,958			
<b>流動資産合計</b>		<b>54,185,136</b>		
<b>2 固定資産</b>				
(1) 有形固定資産				
什器備品	0			
減価償却累計額	0			
<b>有形固定資産計</b>		<b>0</b>		
(2) 無形固定資産				
ソフトウェア等	0			
<b>無形固定資産計</b>		<b>0</b>		
(3) 投資その他の資産				
敷金	0			
保証金	180,000			
長期前払費用	0			
<b>投資その他の資産計</b>		<b>180,000</b>		
<b>固定資産合計</b>		<b>180,000</b>		
<b>資産合計</b>			<b>54,365,136</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
未払費用	0			
前受会費	0			
預り金	195,900			
仮受金	0			
<b>流動負債合計</b>		<b>195,900</b>		
<b>2 固定負債</b>				
	0			
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>		
<b>負債合計</b>			<b>195,900</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
前期繰越正味財産		53,000,734		
<b>税引後当期正味財産増減額</b>		<b>1,168,502</b>		
<b>正味財産合計</b>			<b>54,169,236</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>54,365,136</b>	

## 2025年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	64		
三菱UFJ銀行普通預金	14,241,530		
ゆうちょ銀行普通預金	7,821,566		
三井住友銀行	2,465,484		
みずほ銀行	9,647,498		
<b>現預金計</b>	<b>34,176,142</b>		
未収金			
売掛金/未収金	19,994,958		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
<b>未収金計</b>	<b>19,994,958</b>		
前払費用	14,036		
<b>前払費用計</b>	<b>14,036</b>		
仮払金	0		
<b>仮払金計</b>	<b>0</b>		
<b>流動資産合計</b>		<b>54,185,136</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
<b>有形固定資産計</b>	<b>0</b>		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	0		
<b>無形固定資産計</b>	<b>0</b>		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		ATC保証金
長期前払費用	0		
<b>投資その他の資産計</b>	<b>180,000</b>		
<b>固定資産合計</b>		<b>180,000</b>	
<b>資産合計</b>			<b>54,365,136</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払費用	0		
前受会費	0		
預り金			
源泉所得税預り金	195,900		
仮受金	0		
<b>流動負債合計</b>		<b>195,900</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
	0		
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>	
<b>負債合計</b>			<b>195,900</b>
<b>正味財産</b>			<b>54,169,236</b>

## 5. 監査報告

2025年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2026年4月20日

監 事

高瀬 知章

高橋 直樹

## 第2号議案「第23期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

2026年度事業計画案(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

### 1. 事業実施の方針

会員と賛助会員組織に対してCxに関する技術やCx事業を推進するための情報提供を行い、Cxを広めることで社会に貢献する。2026年度は下記の活動を計画する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会の大阪開催を検討する。CxTE(性能検証専門技術者)講習会はWEBにて開催する。また、第3回目となるCxTE実務講習会については、広く参加を呼び掛けて開催する予定である。

事例シンポジウムを関西、中部、東京で開催する。ここで紹介するCx事例に関しては、可能な限り収集データや実測データに基づいた図表により、Cx効果を見える化し、参加者にわかりやすいものとする。Cxでの活用を目指して開発された空調システムエネルギーシミュレーションツールACSES/Cx(Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning)について、今年度は更に理解を深めるパーソナルトレーニング講習を実施する予定である。

総会については、実会合・オンライン併用のハイブリッド形式で行い、附帯事業として講演会および技術交流会を開催する。

性能検証普及事業については、当協会のホームページにおけるCx技術資料等の会員向けコンテンツの充実を図る。CxPEとしての活動の活性化を目指して、CxPE相互の意見交換のため座談会を開催する。省エネルギー・省CO<sub>2</sub>には、Cxプロセスが有効であることを公共建築部門や民間の建築オーナー団体に理解してもらうため、「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン」をオーナーに配布・解説する活動を行う。技術者同士の交流促進として、コミッショニングレターの発刊は例年通り実施する。加えて、空気調和・衛生工学会大会でのコミッショニングの集いや学会ブース出展などを実施する。

調査研究及び技術支援事業については、Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。技術委員会活動としては、空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し、学会と連携してシンポジウムなどで公開する。海外調査・国際交流として、ASHRAE Region XIII 既存建物のコミッショニングタスクフォース(Retro-Commissioning/Retrofitting Task Force)に対して、ASHRAE日本支部と協調しながら、情報交換を行い、協会内での情報共有を図っていく。

基準の制定及び検証事業については、「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂第5版の普及に取り組む。当協会に特命で依頼された先導的Cx業務の充実を図るとともに、調査研究業務を受託し、その活動成果やノウハウをCxに関わる人材育成や実務資料の集成に活かすとともに、シンポジウムなどを通じて公表する。

さらに、Cxプロセスの有用性や事例、各種ツールを建物所有者に周知し、Cx実施につなげてもらうために、(1)建物所有者へのCxの広報・周知、(2)資格取得者向けCx事業実践研修およびCxF拡充による実施体制強化、(3)Cx実施による省エネ効果の定量化とコベネフィット効果の海外事例調査を行う。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心となって策定し、企画・運営委員会を通して実施できるようガバナンス体制をより強固にする。

## 2. 事業実施計画に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業(非営利活動)

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2026/12	大阪開催	10名	8名
	b)	CxTE 講習	2026/7	オンライン開催	5名	30名
		CxTE 実務講習	2026/8	試験施設開催	5名	7名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2026/4 ～2027/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	事例シンポジウム	2026/6/11	関西 +オンライン開催	10名	90名
			2026/10	東京 +オンライン開催	10名	90名
			2027/1/22	中部 +オンライン開催	10名	90名
	e)	ACSES/Cx パーソナルトレーニング	2026/10 ～2027/3	オンライン開催	3名	10名
	f)	Cx マニュアル(CD)の頒布	2026/4 ～2027/3	BSCA 事務所	3名	30名
g)	総会付帯講演会	2026/5	総会会場	10名	40名	
h)	技術交流会	2026/5	開催	10名	20名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2026/9	静岡理工科大学	4名	40名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2026/4 ～2027/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2026/4 ～2027/3	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2026/4 ～2027/3	事務局	7名	約200名
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2026/9	静岡理工科大学	3名	約100名
e)	企画・運営委員会活動	2026/4 ～2027/3	BSCA 事務所他	31名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2026/4 ～2027/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2026/4 ～2027/3	東京	5名	建築関係者
c)	他団体との協働活動参画	2026/4 ～2027/3	東京	4名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッションング	2022/7 ～2027/3	東京・Web 会議他		6名
	b)	R8 年度国土交通省 カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の体制整備事業	2026/4 ～2027/3	東京・Web 会議他		22名
c)	事業委員会活動	2026/4 ～2027/3	BSCA 事務所他	12名		
(5) 共催・協賛事業		2026/4 ～2027/3			会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業によりCxの普及を目指す。						

### 3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

#### (1) 人材育成事業

##### a) CxPE(性能検証技術者)資格研修会

CxPE(性能検証技術者)資格研修会は、2026年度は大阪開催を検討する。

##### b) CxTE(性能検証専門技術者)講習

CxTE(性能検証専門技術者)講習会は、受講者を全国から募ることも考慮して2025年度に引き続きオンラインによる講習を開催する。また、新たな取り組みとしてスタートした実務講習については、BSCA会員およびCxPE資格者・CxTE登録者のみならず、広く参加を呼びかけて開催を予定する。

##### c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxTE(性能検証専門技術者)の認証検討委員会とCxPE(性能検証技術者)の資格判定委員会を実施する。

##### d) Cx事例シンポジウム

- ・ 関西では、2026年6月11日に中央電気倶楽部(大阪)においてシンポジウムの開催を予定する。本シンポジウムでは、基調講演を通じて、建築ストックの省エネルギー化に向けたCx適用の意義と今後の展望を示すとともに、BSCA認定のCxPEが関与した具体的なプロジェクト事例を通じて、設計・施工・運用の各段階におけるCxの実践内容とその成果を紹介します。さらに、企業における継続的なCx導入の取組や投資効果に関する発表を通じて、Cxの実務的価値および今後の展開の方向性を共有し、参加者にとって有益な知見を提供することを目指す。
- ・ 東京では、Cxの普及展開を目指して、実際のプロジェクト案件を中心に事例紹介を中心としたシンポジウムを計画する。開催時期は2026年10月を予定する。
- ・ 中部では、Cxの普及を目指し、オーナー、地方自治体、設計者、施工者、メンテナンス業者、地元企業など、Cxプロセスに関わる様々なステークホルダーに対し、Cx事例を紹介して、プロセスの適用方法とその効果を説明し、意見交換を行う。開催時期は2027年1月22日を予定する。

##### e) ACSES/Cxパーソナルトレーニング

Cxに活用するという視点で開発されたシミュレーションツールACSES/Cx(Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning)を3年前にオープンソースツールとして一般公開し、利用方法に関するワークショップを開催してきた。今年度は、MBD(モデルベースデザイン)を目指し、シミュレーションツールの理解を深めるトレーニング講習を実施する。開催時期は2026年10月からとし、参加者10名程度を予定する。

##### f) Cxマニュアル(CD)の頒布

2025年4月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第5版を販売する。

##### g) 総会付帯行事としての講演会(2026年5月)

総会後に、リアルとWEBでの特別講演会を実施する。講演は、千葉大学大学院 林立也教授「ウェルネスオフィスの効果検証」および日本エネルギー経済研究所 永富 悠氏「IEAの役割と取り組み」を予定する。

**h) 技術交流会**

総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を企画する。

**i) Cx に関心を持つ者の集い**

空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミショニングに関心を持つ者の集い」を開催する。

## (2) 性能検証普及事業

### a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての活動の活性化を図ることを目的とし、現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換する座談会を東京で開催する。

### b) ホームページの整備拡充

定期的にホームページの部分的な更新を実施する。今年度は、ホームページ作成・編集ソフトのワードプレス最新版への対応を実施する。

### c) コミッショニングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターの月 1 回の発行を継続する。

### d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会期間中に技術展示会場へ協会展示ブースを出展し、広報活動を行う。従来のパネル展示に加えて、モニターを用いた動画展示を実施し、コンテンツの充実を図る。

### e) 企画・運営委員会活動

委員会を年 5 回程度開催し、下記活動について審議・実施する。

#### 1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供 (Cx 文書事例、Cx ツール等) について検討する。

#### 2) CxTE および CxF への登録の促進

Cx 事例シンポジウムなどで CxTE 及び CxF の登録制度を広く紹介し、登録を働きかけることで、会員および賛助会員の増加を図る。

#### 3) Cx の普及活動

- ・ 建物所有者に対する Cx の認知度向上を目指し、ホームページへ掲載している「建物所有者のみなさま」サイトのコンテンツを充実させる。
- ・ CxF (コミッショニング事業者) が社会に定着することを目指し、Cx 業務を実施する CxF の重要性を理解していただく活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建物所有者に対して、カーボンニュートラル事業に Cx プロセスが有効であることを説明し、施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。

### (3) 調査研究・技術支援事業

#### a) 海外調査・国際交流

Cx に関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。Cx に関する国際会議(例えば、全米コミッショニング会議(NCBC)など)の開催案内や、それらの会議への参加者からの報告をコミッショニングレターに掲載し、会員へ情報提供することに努める。また、海外の Cx 組織(例えば、米国コミッショニング協会(BCA)など)との連携活動を検討する。

ASHRAE Region XIII 既存建物のコミッショニングタスクフォース(Retro-Commissioning/Retrofitting Task Force)とは、引き続きASHRAE 日本支部と協調しながら、情報交換を行い、協会内での情報共有を図っていく。

#### b) 技術委員会活動

空気調和・衛生工学会の Cx 委員会や同小委員会と連携して Cx の普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。省庁、自治体、関係業界団体等の各所に、Cx とは何か、カーボンニュートラルに向けての Cx の必要性は何か、などを説明し、理解を深めていただく。その際には、「カーボンニュートラル達成へ向けたコミッショニング(Cx)のススメ(BSCA 作成)」や「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン」を資料として活用することが有効であると思われるため、建物所有者への Cx 普及促進資料の作成などを行う。

#### c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所(建研)および一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECS)が企画・運営する「住宅・非住宅建築物の省エネルギー・脱炭素・室内環境のための技術体系に関する研究 ― 実証データに基づく技術開発プロジェクト(自立循環プロジェクトフェーズ 8) ― 未評価技術の省エネルギー設計・調整・試験方法に関する検討委員会」に、昨年度に引き続き、当協会から吉田名誉理事長が委員長として参画するとともに、柳原前理事長、赤司副理事長、松下理事、および BSCA 会員の山田博氏、吉原毅氏の 5 名が委員として参加し、Cx 手法を適用した未評価技術に対する省エネルギー評価手法の検討を行う。

今年度は、VWV・VAV システムに続く未評価技術である CO<sub>2</sub>濃度制御に関する技術解説書の作成を主なテーマとして検討を進める予定である。本活動を通じて、未評価技術に対する Cx 手法を用いた省エネルギー評価および設計・調整手法の体系化へ貢献する。

#### (4) 基準の制定・検証事業

##### a) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッションニング

- ・ 委託機関: 東急電鉄(株)
- ・ 事業実施: 2025年4月～2027年3月
- ・ 担当者: 吉田治典(CA)、木虎久隆(幹事)、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事のCxについて、その成果を広く周知する活動を実施する。

##### b) R8年度国土交通省 カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の体制整備事業

- ・ 委託機関: 国土交通省
- ・ 事業実施: 2026年4月～2027年3月(予定)
- ・ 担当者: 奥宮 正哉、赤司 泰義、山羽 基、木虎 久隆、近本 智行、澤地 孝男、上谷 勝洋、田上 賢一、馳平 心、松下 直幹、浅利 直記、高草 智、久保井 大輔、湯澤 秀樹、山口 弘雅、天野 雄一郎、岡 敦郎、田中 英紀、西山 満、竹部 友久、辻 裕伸、李 小平(当協会の会員のみ掲載、現在検討中です。変更になる可能性があります。)

##### c) 事業委員会活動

当協会に寄せられるCxプロジェクトの相談への対応方法について議論を行う。

#### (5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業によりCxの普及を目指す。

#### 4. 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

##### 2025年度予算執行状況報告

建築設備コミッションング協会

2025年4月1日から2026年1月31日まで

科目	2026年度予算案	2025年度予算		備考欄
	非営利事業	特定非営利活動事業	増減額	
<b>I 経常収益</b>				
1 受取会費				
入会金収入	100,000	100,000	0	
正会員受取会費	2,400,000	2,300,000	100,000	
賛助会員受取会費	7,000,000	6,000,000	1,000,000	
計	9,500,000	8,400,000	1,100,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
計	0	0	0	
<b>4 事業収益</b>				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	770,000	840,000	-70,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	365,000	325,000	40,000	
CxTE研修会(実務)	500,000	700,000	-200,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	670,000	700,000	-30,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	600,000	600,000	0	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	535,000	400,000	135,000	
ACCESS/Cxワークショップ	240,000	240,000	0	
マニュアルの頒布	400,000	200,000	200,000	
技術交流会	150,000	150,000	0	
Cx 集い	135,000	135,000	0	
小計	4,365,000	4,290,000	75,000	
2. 普及事業	0	0	0	
小計	0	0	0	
3. 研究・支援事業				
技術委員会	0	0	0	
小計	0	0	0	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	0	6,600,000	-6,600,000	
既存建物省エネルギー省Co2	20,000,000	20,000,000	0	
小計	20,000,000	26,600,000	-6,600,000	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	24,365,000	30,890,000	-6,525,000	
<b>5 その他収益</b>				
受取利息	50,000	10,000	40,000	
雑収益	0	0	0	
計	50,000	10,000	40,000	
<b>経常収益計</b>	<b>33,915,000</b>	<b>39,300,000</b>	<b>-5,385,000</b>	

科目	2026年度予算案	2025年度予算		備考欄
	非営利事業	特定非営利活動事業	増減額	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1 事業費</b>				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	530,000	1,160,000	-630,000	
CxPE座談会	216,000	216,000	0	
CxTE研修会(東京ZOOM)	115,000	115,000	0	
CxTE研修会(実務)	435,000	505,000	-70,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	650,000	520,000	130,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	300,000	300,000	0	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	3,000	3,000	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	400,000	400,000	0	
ACSES/Cx公開ワークショップ	225,000	225,000	0	
マニュアルの頒布	200,000	100,000	100,000	
総会付帯講演会	90,000	90,000	0	
技術交流会	230,000	230,000	0	
Cx 集い	150,000	135,000	15,000	
資格判定委員会	200,000	180,000	20,000	
計	3,744,000	4,179,000	-435,000	
2. 普及事業				
ホームページ	520,000	520,000	0	
コミッションングレターの発行	100,000	100,000	0	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	120,000	100,000	20,000	
CxF登録制度小委員会	50,000	50,000	0	
企画・運営委員会及び広報担当	200,000	200,000	0	
計	990,000	970,000	20,000	
3. 研究・支援事業				
海外調査	200,000	200,000	0	
技術委員会	100,000	100,000	0	
計	300,000	300,000	0	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	5,500,000	10,200,000	-4,700,000	
既存建物省エネルギー省Co2	20,000,000	20,000,000	0	
事業委員会	100,000	100,000	0	
マニュアル校正	0	350,000	-350,000	
計	25,600,000	30,650,000	-5,050,000	
5. その他				
計	0	0	0	
<b>事業費計</b>	<b>30,634,000</b>	<b>36,099,000</b>	<b>-5,465,000</b>	

科目	2026年度予算案		2025年度予算		備考欄
	非営利事業	特定非営利活動事業	増減額		
<b>2 管理費</b>					
旅費交通費	300,000	280,000	20,000		
通信運搬費	900,000	900,000	0		
消耗品費	100,000	100,000	0		
什器備品	50,000	100,000	-50,000		
会議費	300,000	300,000	0		
印刷製本費	50,000	100,000	-50,000		
租税公課	200,000	600,000	-400,000		
支払手数料	80,000	60,000	20,000		
雑給	0	0	0		
諸会費	50,000	100,000	-50,000		
家賃	402,600	402,600	0		
修繕費	0	0	0		
予備費	0	0	0		
支払報酬	420,000	420,000	0		
事務外注費	4,600,000	4,600,000	0		
事務管理費	250,000	250,000	0		
雑費	40,000	0	40,000		
減価償却費	0	0	0		
<b>管理費計</b>	<b>7,742,600</b>	<b>8,212,600</b>	<b>-470,000</b>		
<b>經常費用計</b>	<b>38,376,600</b>	<b>44,311,600</b>	<b>-5,935,000</b>		
<b>I, II 当期經常増減額</b>	<b>-4,461,600</b>	<b>-5,011,600</b>	<b>550,000</b>		
<b>III 經常外収益</b>					
1 固定資産売却益		0			
<b>經常外収益計</b>		<b>0</b>			
<b>IV 經常外費用</b>					
<b>經常外費用計</b>		<b>0</b>			
<b>III, IV 当期經常外増減額</b>		<b>0</b>			
税引前当期正味財産増減額	-4,461,600	-5,011,600			
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000			
当期正味財産増減額	-4,531,600	-5,081,600			
前期繰越正味財産額	54,169,236				
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>49,637,636</b>				

### 第3号議案「役員の改選に関する事項」

#### 1. 理事再任に関する事項

再任理事 赤司泰義君

再任理事 浅利直記君

再任理事 大石晶彦君

再任理事 奥宮正哉君

再任理事 上谷勝洋君

再任理事 澤地孝男君

再任理事 田上賢一君

再任理事 近本智行君

再任理事 山羽 基君

再任理事 馳平 心君

再任理事 松下直幹君

再任理事 丸山直子君

以上、12名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の理事に再任する。

#### 2. 監事再任に関する事項

再任監事 高瀬知章君

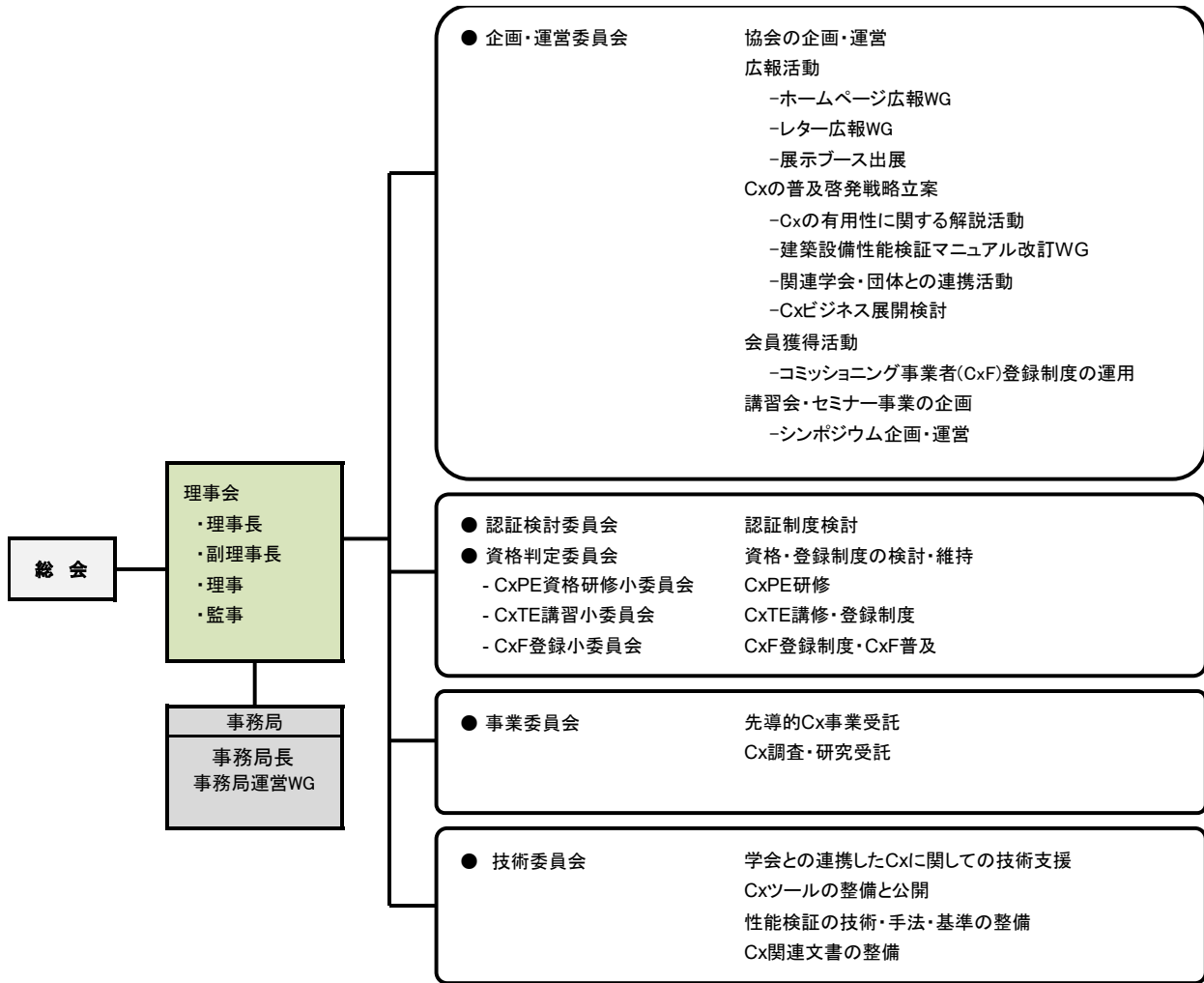
再任監事 高橋直樹君

以上、2名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の監事に再任する。

参考

[ 組織図 ]



**BS&A** 特定非営利活動法人  
**建築設備コミッショニング協会**  
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階  
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>